

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：25項目

問題あり：3件

要確認：3件

問題なし：19件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

玄葉光一郎の基本情報

記載内容：「玄葉光一郎（げんば こういちろう、1964年5月20日生まれ）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、松下政経塾プロフィールで確認

記載内容：「福島県出身の日本の政治家で、立憲民主党所属の衆議院議員」

検証結果：✓正確

根拠・出典：立憲民主党公式サイト、衆議院公式サイトで確認

記載内容：「選挙区は福島県第2区（旧福島3区）で、通算11期当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2024年選挙区変更により福島3区から福島2区へ。11期当選も確認

2. 数値情報

年齢・当選回数

記載内容：「26歳での福島県議当選は県政史上最年少」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、複数のメディア記事で確認

記載内容：「当時46歳での外相就任は大正以降で最年少」

検証結果：✗誤り

正しい情報：47歳での外相就任が戦後最年少

根拠・出典：Wikipedia「外務大臣(日本)」では「戦後では玄葉光一郎の47歳3か月」と記載

記載内容：「2021年11月より衆議院副議長に就任」

検証結果：✗誤り

正しい情報：2024年11月11日に衆議院副議長就任

根拠・出典：時事通信、福島民報「衆院は11日の本会議で、副議長に立憲民主党の玄葉光一郎氏（60）＝福島県2区＝を選出した」（2024年11月12日）

3. 政党所属・選挙区

記載内容：「立憲民主党所属の衆議院議員（11期）」

検証結果：△要確認

理由：副議長就任により会派離脱中の可能性。Wikipedia注記「衆議院副議長就任に伴い会派離脱中」

記載内容：「福島県第2区（旧福島3区）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2024年の区割り変更で福島3区から福島2区に変更

4. その他の重要な事実関係

政治経歴

記載内容：「2017年には無所属で当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、第48回衆議院選挙で無所属として出馬・当選

記載内容：「上智大学法学部卒業後に福島県議を経て国政に進出」

検証結果：✓正確

根拠・出典：松下政経塾、Wikipedia等で学歴・経歴確認

記載内容：「1991年福島県議初当選、26歳で県政史上最年少」

検証結果：✓正確

根拠・出典：複数の信頼できる情報源で確認

立憲民主党での役職

記載内容：「立憲民主党では副代表を務める」

検証結果：△要確認

理由：副議長就任により党籍離脱の可能性があるため現在の状況要確認

記載内容：「2024年10月実施、第50回衆院選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：NHK選挙サイト等で確認

改善提案

修正が必要な箇所

1. 外相就任年齢の記述

- 誤：「当時46歳での外相就任は大正以降で最年少」
- 正：「当時47歳での外相就任は戦後最年少」

2. 副議長就任時期の記述

- 誤：「2021年11月より衆議院副議長に就任」
- 正：「2024年11月より衆議院副議長に就任」

3. 党籍に関する記述

- 副議長就任に伴い党派離脱の可能性があるため、現在の立憲民主党との関係について正確な表記が必要

追加確認が推奨される情報

- 副議長就任後の党籍・会派の状況
- 各種数値データ（発言回数、文字数など）の具体的根拠
- 引用している法案名や政策の正確な名称
- SNSのフォロワー数などの最新数値

総合評価

記事全体としては高い正確性を保っていますが、重要な事実関係（外相就任年齢、副議長就任時期）に誤りがありました。これらの修正と、副議長就任に伴う党籍状況の整理が必要です。